

令和7年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会 会議録

会議の名称	令和7年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年8月20日(水) 15時00分~16時30分
開催場所	木更津市役所駅前庁舎 防災室・会議室
出席者等	<p>【出席委員】16名</p> <p>石渡 宏 委員(公募委員)</p> <p>高橋 晴樹 委員(日東交通株式会社 運輸部長)</p> <p>手塚 真一 委員(一般社団法人千葉県タクシー協会 南房支部長)</p> <p>鹿島 良行 委員(東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター所長)</p> <p>轟 朝幸 委員(日本大学理学部交通システム工学科 教授)</p> <p>福浪 新一 委員(国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>品川 昭和 委員(木更津市 企画部長)</p> <p>鈴木 和代 委員(木更津市 市民協働部長)</p> <p>阿津 直人 委員(木更津市 福祉部長)</p> <p>寺田 巧実 委員(木更津市 都市整備部長)</p> <p>大澤 一樹 委員(日東交通労働組合 木更津支部副支部長)</p> <p>伊藤 貴夫 委員(君津土木事務所 調整課長)</p> <p>鴨田 宏 委員(富来田地区まちづくり協議会 会長)</p> <p>立松 義徳 委員(イオンモール木更津 涉外部長)</p> <p>藤井 裕 委員(三井アウトレットパーク木更津 所長)</p> <p>神蔵 五月 委員(木更津市議会 交通政策特別委員会 委員長)</p> <p>【代理出席】2名</p> <p>松下田 正弘 氏(小湊鉄道株式会社 移動課題解決部 バス運行マネジメント課)</p> <p>上田 純誠 氏(一般社団法人千葉県バス協会 業務係長)</p> <p>宮原 翔 氏(千葉県総合企画部交通計画課)</p> <p>【欠席委員】2名</p> <p>泉水 廣己 委員(木更津市区長会連合会 会計)</p> <p>住澤 悠太 委員(木更津警察署 交通課長)</p>

	<p>【事務局】 4名 企画部（地域政策室） 鈴木室長、平野係長、深野主任主事、田丸主事</p>
傍聴人數	0人
会議の議題及び会議資料の内容	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 路線バス「太田循環線」新規系統運行開始（10月1日）について (2) 路線バス「三井アウトレット線」のダイヤ改正（7月19日）について (3) 令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の実施について</p> <p>【議題】</p> <p>(1) 木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正について (2) 令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について (3) 木更津市地域公共交通計画の変更について (4) 富来田地区における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加）</p> <p>【配布資料】</p> <p>◇次第 ◇席次表 ◇委員名簿 ◇木更津市地域公共交通活性化協議会規約 ◇報告資料1：路線バス「太田循環線」新規系統運行開始（10月1日）について ◇報告資料2：路線バス「三井アウトレット線」のダイヤ改正（7月19日）について ◇報告資料3：令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の実施について ◇資料1：木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正について ◇資料2：令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について ◇資料3：木更津市地域公共交通計画の変更について ◇資料4-1：富来田地区における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加） ◇資料4-2：木更津市地域公共交通活性化協議会において協議が調ったことを証する書類（案）</p>
議事の経過及び発言の要旨	別紙のとおり

別紙 会議録

事務局	(1 開会) 【代理出席・欠席者報告】【会議成立報告】【資料確認】
団会長	(2 あいさつ) 皆様こんにちは。 本日は大変暑い中、またご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。 本年度2回目の協議会の開催となります。 議題としては、主に地域公共交通計画の前年度事業評価や、計画本編の内容変更となっています。 地域公共交通計画施策や、それに関わるような様々な活動を、事業者の皆様をはじめ、多くの皆様に行っていただきおりりますことに感謝申し上げます。 本日の報告事項にもありますが、既存の路線バスのルート延伸といった、計画目標を達成するような施策が展開されていることを喜ばしく思います。 一方で、地域公共交通を取り巻く環境は、ドライバー不足、物価高騰、人口減少により依然として厳しい状況ですが、これらの課題にどのように対応していくかが非常に重要であると認識しています。 そのためにはサービスをより良くしていくこととあわせて、利用者側も利用を推進することが重要かと思っています。 皆さんの協力のもとで進めていければと思っております。 それでは、円滑な会議運営にご協力いただければと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。
事務局	【傍聴者報告（傍聴者無し）】【議事進行を議長（会長）に依頼】

轟会長	それでは、議長を務めさせていただきます。 よろしくお願ひいたします。
轟会長	(3 報告事項) はじめに、「3 報告事項」となります。 質問は報告事項が全て終わりましたら、お願ひいたします。
高橋委員	それでは、報告事項（1）「路線バス『太田循環線』新規系統運行開始（10月1日）について」です。 日東交通の高橋委員から説明をお願いします。
轟会長	【報告資料1に基づき説明】 ありがとうございました。 続きまして、報告事項（2）「路線バス『三井アウトレット線』のダイヤ改正（7月19日）について」です。 小湊鉄道 松下田様から説明をお願いします。
小湊鉄道 松下田 様	【報告資料2に基づき説明】 ありがとうございました。 続きまして、報告事項（3）「令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の実施について」です。 事務局から説明をお願いします。
事務局	【報告資料3に基づき説明】
轟会長	ありがとうございました。 報告事項については以上で全て終了いたしました。

	委員の皆様から何か確認したい点・ご意見等ありますでしょうか。
神蔵委員	バス・タクシー運転士の説明会については、事前申込制とのことでしたが、イオンモール木更津での実施なので、当日参加も見込めると思いますがこの辺りはいかがでしょうか。
事務局	委員おっしゃる通りで、当日参加についても念頭に置き、より多くの方の目に触れ、ご参加いただける方がいいだろうということでイオンモールを会場に選定しております。
立松委員	必要であれば館内の大型サイネージや、インフォメーションからの広報も可能なので、要望をいただければ対応します。
轟会長	私から報告2の内容について確認させてください。 ご説明の中で、アウトレット線についてアウトレットを境に木更津方面と袖ヶ浦方面で分ける理由は渋滞が慢性的に発生するからということでした。定時運行のためにはこの方がいいかなと思いますが、それに対して木更津方面と袖ヶ浦方面の両方を利用される方に乗り継ぎ割引をすることについては、周知がされているのかということについてお聞きできたらと思います。
小湊鉄道 松下田 様	周知はしっかりとやらせていただきます。
轟会長	お願いいいたします。 袖ヶ浦駅まで行けなくなった、或いは料金が高くなったと思われるというようなことがないようにしていただきたいと思います。 渋滞を考慮した改正ですが、それでもバスが遅れてしまうことがあると思います。木更津方面と袖ヶ浦方面の乗り継ぎの際に乗り遅れてしまうことが心配されるので、そういう時に重要なのが運行情

	<p>報だと思います。</p> <p>インターネット等でリアルタイムに運行情報が提供されているのでしょうか。</p>
小湊鉄道 松下田 様	<p>全てのバス車両に無線がついていますので、どういう渋滞でどのぐらい渋滞が長くなっているかの情報は、営業所の方に連絡することで運転手が把握することは可能です。</p> <p>しかし、途中のバス停で待っているお客さんは把握することができないのが現状となっています。</p>
轟会長	<p>お客様がスマートフォン等で運行状況を把握することができるようになれば、乗継ぎがしやすくなることも考えられます。</p> <p>情報提供により各方面で便利になりますし、利用される方もそれを求めていると思いますので、ぜひ検討いただけたらと思います。</p>
小湊鉄道 松下田 様	今後の参考にさせていただきます。
	(4 議題)
轟会長	<p>それでは、続きまして、次第の「4議題」に移ります。</p> <p>議題（1）「木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	【資料1に基づき説明】
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かご質問・ご意見ありますでしょうか。</p>
神蔵委員	資料10ページの検討プロセスのことをお聞きできればと思うんですけども、交通確保の方法が決まっていない場合の導入について

	て、①交通事業者に対して提案を求める場合の最長2ヶ月と、②提案内容について協議は最長4ヶ月となっていますが、これは、最終的にどこまでを決める2ヶ月になるものでしょうか。
轟会長	確かにわかりづらい複雑な書き方になっていますね。 最長4ヶ月っていうのが、最長2ヶ月の中に最長4ヶ月があるように読めてしまうってことですよね。
事務局	10ページのこの表につきましては、上の図が自家用有償の導入が提案された場合で、市長が判断する場合はこの提案から2ヶ月となります。下の図については交通の確保の方法が決まっていない場合の話になりますが、バス・タクシー事業者に対して、交通の導入について提案を求めた時点から2ヶ月間で具体的な提案があるかないかで、チャートが分かれるというように解釈をしております。
轟会長	下図の場合は具体的な提案までが2ヶ月ということですね。 提案があった場合は、その提案内容についての協議が最長4ヶ月として扱うということですね。
	先ほど事務局から説明ありがとうございましたが、やはり皆さんの合意を得て進めていくというのが基本だと思いますので、そういったところはしっかりとやっていくべきと考えています。委員の皆様への説明責任も含めて、協議を進められればと思っているところです。 それでは、反対意見ございませんので、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。
一同	異議なし。
轟会長	ありがとうございました。

	<p>承認とさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題（2）「令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	【資料2に基づき説明】
轟会長	<p>ありがとうございます。昨年度の計画事業進捗についての評価となります。</p> <p>議題（2）について何かご不明な点。ご意見はありますでしょうか。</p>
藤井委員	<p>慢性的にバスの運転手さんが不足している中で、現状の「高速バスの利便性向上」および「木更津金田バスターミナルの機能強化」の評価の仕方が相応しいのかという疑問があります。</p> <p>「評価指標Ⅱ木更津金田バスターミナルの高速バス乗入れ便数」となっていますが、乗車率だとどれだけの運転士が充足されているかという指標も一緒に見ていかないと、改善されていかないのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘いただきありがとうございます。</p> <p>金田バスターミナルへの乗入れ便数については、減少傾向ということになっておりますが、高速バスの年間の乗降者数については、増加傾向であることを把握しております。</p> <p>具体的な数字ですが、令和4年度は約390万人、令和5年度は460万人、令和6年度は470万人となっております。</p>
藤井委員	乗降者が増えていて、運行本数が減っているということは、効率化が図られているという側面もあると考えられるので、乗降率が低い中で、無理にずっと走らせているっていうところに対しては適切化

	<p>を図っていかないといけないっていう部分があると思います。小湊鉄道さんも日東交通さんも収支ありきの話の中で、調整に苦慮されていますので、その辺りも考慮しなければいけないと思いますし、赤字を出しながら本数だけ増えてればいいというご時勢でもないのではないかというところをお伝えさせていただきました。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>運行の実態、利用の実態、これをしっかりと、バス事業者さんの方では把握されているかと思います。</p> <p>それに合わせて、適切な効率的な運行ができればと思いました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
石渡委員	<p>事業8の事業者の人材育成について質問ですが、取組状況の欄に、「継続的な社内研修の実施により、運転手等の接遇能力の向上を図り、利用者の満足度の目標達成を目指します。」とありますが、どのような研修をしているか、お伺いしたいと思います。</p>
高橋委員	<p>当社につきましては、年1回の接遇研修を実施しております、接遇能力の向上のため、一般的な挨拶からお客様に接する際の話し方や言葉遣いの向上を図るということを行っております。さらに車椅子の方の乗車補助体験ということで、バスを停車してから車椅子を乗せるためのスロープを出して実際の乗車補助までの実践を行っております。</p> <p>また接遇ではないのですが、バスの交通事故を減らすということで、運転手教習専用のバスを仕立てまして、その専用車両を使って、新入社員の研修や、複数回事故を起こしてしまった運転手への研修を実施し、事故を減らして、お客様に迷惑をかけないというところで、研修を行っているところでございます。</p>

石渡委員	<p>地域公共交通の問題は人材不足の影響が大きいということはよくわかりましたが、私は人材育成も重要だと考えています。</p> <p>新聞記事に運転士の人材育成について書かれていましたので紹介させていただきます。</p> <p>ある大手バス会社では、運転士の運転技術や、接客応対の基礎運転コンクールを毎年行っているとのことです。</p> <p>運転が好きな方はたくさんいると思っています。ですから、もう少し運転手という職業が誇りを持つべきだと思っていて、お互いに運転技術を競い合うようなシステムづくりや、よりよい運転士の労働環境とか、運転士が誇りを持って仕事に従事できるような体制づくりはできないものかといつも思っております。</p> <p>私は市内のバスも、仕事の関係で市外のバスもよく乗りますが、身だしなみが整っていない方もいる一方、乗客のことを考えて丁寧に道々を案内しながら運転している方もいらっしゃって、乗客としては運転士さんの意識というものがすぐわかります。ですから、お客様に対して本当に貢献できる人材育成をお願いしたいと思います。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、事業者さんの方でもご検討いただき、引き続き、様々な研修等もしていただければと思います。</p> <p>また、研修に加えて、運転士にとってのインセンティブもあったほうがいいかななんてことは聞いていて思いました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>では、私からも一点。先ほどの高速バスの件、実は、今回の評価の中でCがついたのは、事業1「高速バスの利便性向上」と事業2「木更津金田バスターミナルの機能強化」となります。高速バスについては人材不足の影響はあまり受けずに、路線バスの方が減便という</p>

	<p>が多いという認識を持っていました。高速バスは収入が多く見込めるなどで、収益率の高さから、高速バスへシフトしていくという動きがありますが、ここまで影響が及ぶものかと不思議に思うところがあります。</p> <p>千葉県さんの方で、千葉県全体の動き等も把握されていと伺っていますので、少し補足をいただければと思います。</p> <p>千葉県交通計画課 宮原様</p> <p>千葉県内の全域の高速バス運行状況については調査しておりませんが、アクアラインを通過する路線については把握しているところですでのご報告させていただきます。</p> <p>令和5年度は27路線390便が、令和6年度については27路線で変わりませんが、便数は15減の375便となっておりました。この数値はいずれも平日上りのものとなっています。</p> <p>轟会長</p> <p>アクアライン高速バスは、路線数は減ってはいないものの、便数が減っているという全体的な傾向についての報告でした。</p> <p>このあたりが先ほども説明の中にありました、千葉県内の事業者さんよりは東京の方の事業者さんが便数を減らしているということかなと思います。先ほどもありましたけど、便数だけで適切な運行内容かどうかを判断するものではないと思いますが、私が気になっている理由は、この地域公共交通計画には通常は高速バスに関して、あまり計画の中に書き込まない自治体が多いですが、木更津市はしっかり書き込んでありますし、さらに高速バスは木更津市の特徴かと思っています。</p> <p>冒頭でも述べさせていただきましたが、人口減少していないのは高速バスの効果が大きいのではないかと思っておりますので、ここに関してはしっかりと対策や対応なり、或いはもっと積極的に導入していく政策展開があればなということを思っています。</p> <p>その1つとして、渋滞対策も重要なと思います。所要時間の短縮が</p>
--	--

	<p>できれば、利用者にもメリットがありますけど事業者さんも大きなメリットになりますので、これについてはぜひ、この地域公共交通会議だけではなくて、道路管理者や警察さんとの連携が必要かと思います。</p> <p>渋滞対策も含めて、活性化できればなということを思っていたので、質問をさせていただきました。</p> <p>その他ご質問等はありますでしょうか。</p> <p>事業評価の全体的なことですが、目標値を下回っている事業もありますので、先ほど高速バスの評価についてご意見いただきましたけど、目標値の見方については、多角的に把握したうえで評価することも必要かと思います。</p> <p>まだ2か年分の評価とはなりますが、環境も厳しい状況にありますので、新たにこ入れのような施策展開を検討いただければなと考えております。</p> <p>それでは、反対意見ございませんので、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
一同	異議なし。
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議題(3)「木更津市地域公共交通計画の変更について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	【資料3に基づき説明】
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>報告事項で説明をいただきましたが、計画の中では市街地循環バス</p>

	<p>を導入していく方針でしたが、既存路線で対応していきましょうということになったので、それに関して変更を行うということです。計画は変更するが目標自体は同じものだと理解をいたしました。</p> <p>何かご質問ご意見ございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは意見ございませんので、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
一同	異議なし。
轟会長	<p>続きまして、議題(4)「富来田地区における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加）」です。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	【資料4－1に基づき説明】
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、富来田地区まちづくり協議会の鶴田委員からも、この目的地追加することの影響について、また利用者の声などについて説明をお願いいたします。</p>
鶴田委員	【東邦病院通院者の増加及び市役所朝日庁舎における行政手続きでの利用希望があることについて説明】
轟会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんにご意見ご質問いただく前に、私からも確認をしたいことがあります。</p>

	<p>資料4－2の裏面に令和3年5月14日付け、地域公共交通活性化協議会長の私の名前で、富来田地区まちづくり協議会の石井会長宛てに発出した覚書文書があります。</p> <p>これは、ふくちゃんバスの区域外目的地として萩原病院を認めた時の条件付けについて明文化したものになるのですが、この際様々な議論を行ったと記憶しています。</p> <p>内容は区域外を運行することに対する課題についてで、既存のバスや鉄道、タクシー事業への影響があることと、また、区域外目的地だと富来田地区から距離があるので運転手の長時間拘束に繋がるという懸念があるということでした。</p> <p>さらには、先ほどの鴨田委員のお話の中でも運転士が不足しているという事情があるということでしたので、地域内の移動の予約が取れないという問題も考えられます。</p> <p>こういった背景がある中で、特例として萩原病院を認めるということで、合意の条件として諸条件が記載されているわけです。</p> <p>特に、2ポツ目ですけど萩原病院が乗降場所と認められている間、同様の理由による他の乗降場所の追加は認めない、とはっきり書いてあります。</p> <p>今回これを認めるにあたって令和3年の合意内容を変えていくということをしなければ整合しない状態です。</p> <p>これについて、制度の在り方としてどう考えていくかは重要な点ですので、合意内容を変えるのであれば変更の決議をしなければいけないかなと思っているところです。この点について、事務局の考えをお聞かせいただければと思います。</p> <p>事務局 会長ご指摘の通りであり、事務局としても本日ご審議いただくに当たりまして、この2地点の目的追加を可能とする場合は、令和3年度に附したこの条件について、見直しが必要と考えております。</p> <p>事務局として、資料4－2を合意の案とさせていただきたいと考え</p>
--	--

	<p>ております。</p> <p>【資料4－2について説明】</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>合意の条件を変えて、覚書の更新をするという説明でした。</p> <p>このような手続き的な細かいことは、組織として必要なことなのでしっかりと行わなければならないので諸々申し上げさせていただいたところですが、実態としては住民の方々が困られているということについては理解もしておりますので、そこのところと、公共交通をどう考えるかという兼ね合いかと思います。</p>
	<p>もう1つ、私から質問させていただくと、今回の協議に関しては事業者さん、タクシー事業者あるいは鉄道事業者、バス事業者との事前協議をされているのか。</p> <p>それから、今回どのくらいのニーズがあるかということも、鶴田会長にお伺いしたいと思います。</p> <p>先ほど申し上げたとおり運転手不足の中で長距離運行が、他へ影響するようなことがないか確認をさせていただきたいと思います。</p>
鶴田委員	東邦病院は富来田地区からは距離的には遠いですが、萩原病院よりは近く、運行本数の大幅な増加にはならないと見込んでいます。
轟会長	<p>そういう見通しがあるのであれば問題ないかと思います。</p> <p>もうひとつ、交通事業者との事前調整はされているのでしょうか。</p>
事務局	バス事業者様、タクシー事業者様とは、いろいろな件で打ち合わせをさせていただく中で、ある程度のご理解をいただいていると考えております。

轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>需要の規模的にはそれほど多くないとは思いますが、やはり地域公共交通の活性化という観点からすると、影響がない範囲での自家用有償旅客運送が基本だと思いますので、ちょっと確認をさせていただきました。</p> <p>私から幾つか確認させていただきましたけれど、皆さんからご質問ご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
高橋委員	<p>乗降場所の追加に関して、富来田地区の方の利用というところで異論ございませんけれども 1つだけ、注意点といいますか、当社で今運行している馬来田線が、木更津駅東口から東横田の駅を結ぶ路線になりますが、この路線は、国の地域間幹線系統の補助をいただきながら運行している路線です。</p> <p>自家用有償旅客運送の乗降場所に追加する東邦病院には、当社のバス路線も乗入れていますので、馬来田線が国の地域間幹線系統の補助をいただく上で利用者数が減ってしまうとバス路線の補助がいただけなくなり、バス路線の維持が厳しくなるということを認識いただきながら慎重に承認していただきたいということを報告させていただきます。</p>
轟会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私が心配している地域公共交通におけるトレードオフ関係に当たることについてお話をいただきました。</p> <p>この辺りのことについては事務局で確認されていますでしょうか。</p>
事務局	<p>リハビリの為に通院する方がバス停まで徒歩では向かえないのでもくちゃんバスを利用されるということですので、もくちゃんバスが利用できない場合は、タクシーによる移動となると思います。その為、路線バスへの影響はないものというふうに考えております。</p>

轟会長	<p>今のところはそのように考えられているということですが、合意書案にあるようにモニタリングはしっかりしていただいて、路線バスへの影響について確認も続けていただければと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。ご意見ご質問ござりますでしょうか。</p> <p>自家用有償旅客運送は、議題1で「検討プロセスの導入」について国が定めたガイドラインの話がありましたが、微妙な形態ではあるので、決して否定はするわけではないですが、慎重に協議した上で、運行を認めていくことが必要になると思いますので、少し慎重にお話をさせていただきました。</p> <p>それでは皆さんからの反対もございませんので、承認とさせていただきますが、改めてもう一度だけ申し上げると、基本的には地域公共交通に影響がない範囲での運行というのが前提であり、或いはそれを補完し合うようなWIN-WINの形が一番望ましいので、駅までだと主要バス停までの運行というのが、本来は望ましい形であるということは、申し上げさせていただきます。</p> <p>それから、何度か申し上げましたけど運転手の確保が難しい中で、こういった運行を効率的にやっていくっていうことも、ぜひ、まちづくり協議会の方でもご検討いただければと思いますし、他の公共交通に影響がないかということも確認いただければと思います。</p> <p>そして、令和3年の合意条件をまた改めるということですが、やはり、むやみにどんどん増えていくことは避けたいということはもう一度申し上げさせていただきます。しっかりと合意の条件4つ履行していただければと思います。</p>
-----	---

	<p>制度的なことを含め手続き上のお話をさせていただいておりますが、富来田地区の自家用有償旅客運送の主旨や、まちづくり協議会でボランティアとして実施されている思いというの理解をしておりますので、ぜひ、これまで通り安全に、利用者の方々にとって、利便性の高い活動続けていただければと思います。</p> <p>それでは、資料の案の内容で協議が整ったとの条件付きの合意をさせていただいたということで、承認とさせていただきます。</p> <p>以上で「4議題」につきましては全て終了いたしました。</p>
轟会長	<p>(5 その他)</p> <p>それでは、「5 その他」ですが、委員の皆様から何かご報告事項はございますでしょうか。</p>
石渡委員	<p>本日の報告事項1の「太田循環線」新規系統運行開始について、日東交通の高橋委員から広報に載せたいというお話がありましたが、このことは非常に大事だと思います。</p> <p>利用したいけれどバス路線がどういうふうになっているかわからない市民の皆さんも多いと思うんですね。ですから、「このバス路線は市民の皆様の利便性を考えてこういう風に変更になった」とか、変更点は市民の皆さん目の目に触れるようにしっかりと載せることでバスの利用の活性化に繋がると思います。</p> <p>先ほどのバス運転手の募集などについても、広報に大々的に載せた方が良いと思います。やはり、広報にバスのことが載っていることが重要だと思います。</p> <p>ぜひ、この会議でも熱心に皆さんのご意見で築き上げているものがありますので、市民の皆さんに知っていただくということは非常に大事だと思います。</p>

	<p>ですから、事務局の方で広報にぜひ載せるように、お願いしたいと思います。</p> <p>また、さきほど、9月20日がバスの日であるということを高橋委員から教えていただきまして、そういう話題もありますので、皆さんのために役に立つことを目的としてバスが始まったという歴史的なこと含めて公共交通の意義をしっかりお書きになって、公共交通の活性化を図っていただきたいと思います。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>広報誌には掲載されていくということでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>本市の場合は市の広報は、毎月の1日の発行となります。</p> <p>太田循環線の市街地循環系統は10月1日から運行開始ということですので、9月1日に発行される広報きさらづ9月号ですね。</p> <p>記事掲載されるように手配しているところです。</p> <p>既存のルートと新しいルート両方乗るような形にして、新しいルートだけでなく、既存運行ルートをご存じない方でも、乗降ニーズを新たに呼び起こすために2種類の運行ルート図の掲載を検討はさせていただいているところです。</p> <p>誌面容量の都合というところもあり、太田循環線の案内を大きく掲載したいというところが第一優先ですので、今年度に関してはバスの日については載せきれないかもしれません。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。よろしくお願いします。</p> <p>広報誌での可能な範囲での情報発信、或いは広報だけじゃなくてSNSでも順次発信をいただければと思います。</p> <p>SNSでは、路線についての情報を公表した時やダイヤ改正された</p>

	<p>日、あるいは石渡委員のお話にあったバスの日の話題のようなものをどんどん発信していただけたらと思います。</p> <p>あわせて報告1の太田循環線の運行ルート変更についても、報告資料に「ますます便利になる太田循環線を、ぜひご利用ください」とかかれていますが、やはり皆さんに乗っていただきたいということを広報していただけたらと思いました。</p> <p>その他いかがでしょうか。皆さんから何かありますか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは「5その他」まで終了いたしました。活発にご議論いただきましてありがとうございます。</p> <p>ぜひ引き続き、皆さんの協力のもと、よりよい公共交通を作っていくべきだと、このように考えているところです。</p> <p>円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。</p> <p>では進行を事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>(6 閉会)</p> <p>轟会長、ありがとうございます。</p> <p>以上を持ちまして、令和7年度第2回木更津市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。</p> <p>次回開催は、年明け1月ごろを予定しております。</p> <p>委員の皆様には引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>なお、詳細は近くになりましたら文書にてお知らせさせていただきます。</p> <p>(以上)</p>